

2019年4月1日から
2020年3月31日まで

2019年度
事業計画・収支予算書



公益財団法人 **ベネッセこども基金**

2019年度 事業計画書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

2018年度からの3か年は、それまでの活動の普及・展開のフェーズと位置づけ、2018年度は、「新しい助成プランのスタート及び自主事業を次の段階へ進める年度」として重点を絞り、取り組みを進めていくこととした。

普及・展開フェーズ1年目である2018年度は概ね計画を達成。2019年度は2年目として、成果をさらに積み上げる。

加えて、少し先を見据えて、民間財団として中間支援的な立ち位置で果たすべき役割についての方向軸をより明確化する。

また、設立5年を迎えるにあたり、節目としての活動機会をつくる。

I : 2019年度の重点テーマ

1. 【助成事業】 「経済」「災害」「重い病気」の助成運営
 - 「経済」：新たな枠組みでの運営初年度。複数年助成の実効性のある運用フロー固め
 - 「災害」：新たな枠組みでの運営初年度。緊急助成の通年化対応
 - 「重い病気」：2020年度からの企画改訂に向けた検討と社会発信
 2. 【経済】 自主事業
 - 中間支援団体的な役割として全体に資する活動テーマへ取り組み、成果をアウトプットする。
 3. 【重い病気や障がい】 発達障がいの子どもと保護者の支援
 - 地域における継続的な子どもと保護者支援のモデルづくり
- +a. 設立5年の節目としての取り組み
- ① 【広報】5年の節目の成果発信
 - ② 【よりよい社会】2020年度以降の重要テーマ検討

Ⅱ：重点テーマの概要

1. 【助成事業】 「経済」「災害」「重い病気」の助成運営

「経済的困難を抱える子どもの学び支援活動」助成（予算枠 3,000 万円）

複数年助成の実行を軌道に乗せ、2019 年度の継続選考、審査が適切に実施できるようにする。

2018 年度の各助成団体の事業が、最大 3 年間で自立的な継続・発展ができるように伴走していく。そのための交流会や団体運営支援のしくみ、活動内容の実査や継続審査のしくみ構築を行う。

「被災した子どもの学びや育ちの支援活動」助成（予算枠 2,000 万円）

2019 年度より、緊急支援に特化した災害支援助成をスタートする。運用基盤を構築し、有事の際にスムーズに実施できるようにする。

年度開始時点での募集要項の公開／サイトでの発信。

公募→受付→審査→結果発信などのフローの確立と浸透。

「重い病気を抱える子どもの学び支援活動」助成（予算枠 1,000 万円）

本領域の現状や環境変化を踏まえ、2020 年度からの企画改訂検討を進める。並行して、本テーマのアドボカシー/活動団体広報支援に取り組む。

2. 【経済】 自主事業

2019 年度までの実績をベースに展開。

当財団×先進団体で、相互にリソースを補いながら、現場の知見を活かした課題解決モデル実践・共有（解決案提示）や課題のアドボカシー（社会的認知の向上）に取り組む。

※ [] 内は連携団体

- 支援人材の育成 [ユースソーシャルワークみやぎ]
- 学びの質の向上 [NPO 法人 Learning for All] [NPO 法人キッズドア]
- 社会発信/アドボカシー
[NPO 法人さいたまユースサポートネット・ NPO 法人 Learning for All]

3. 【重い病気や障がい】 発達障がいの子どもの保護者の支援

継続的な支援モデル構築のために保護者支援を最重点とし、2018 年度から開発中の「保護者向けプログラム」の標準化と地域展開を進める。

- 標準化パッケージのフィージビリティスタディ（F/S）
- より汎用的かつ成果や継続性が高まる展開モデルづくり

+a. 設立 5 年の節目としての取り組み

設立 5 年を迎えるにあたり、節目としての活動機会をつくる

【広報】 5 年の節目の成果発信

設立 5 年の節目を機会として、これまでの成果発信を行う。単発のイベントではなく、知っていただけた方に継続的に応援していただけることを目指す。

- 財団サイト、テーマ別サイトの改訂(情報検索性の向上、スマホ対応など)
- 講演会や勉強会の開催

【よりよい社会】 2020 以降の重要テーマ検討

パラリンピック教材 I'mPOSSIBLE の開発は、【よりよい社会づくりにつながる学び支援】 テーマの核として、「共生社会実現」「多様性理解」など中長期視点で財団が取り組むべきテーマの象徴的な活動となっている。2019 年度までで開発完了の I'mPOSSIBLE 後に取り組むべきテーマについて検討し、2020 年度以降の方向性を明確にする。

Ⅲ：その他のテーマ

重点テーマ以外の実行項目について、概要をまとめる。

【子どもの安心・安全を守る活動】

2018 年度の取り組みから見えてきた普及のポイントに従い、小学生と保護者のベネッセこども基金との出会いの場として、積極的にコンテンツを普及していく。また、必要に応じて、コンテンツの最新化も実施する。

告知普及関連

- 2018 年度のトライアルで高効果が確認できたツールでの継続的な発信
- 講師研修をコンテンツとして位置付けて公開
- 現安全コンテンツの年少への普及可能性を探る

コンテンツ関連

- 初めてのスマホ安心ガイドブック改訂
- 就学前のスマホコンテンツの開発可能性の確認
- 防災テーマへの取り組み：「じしんのときのおやくそく」増刷、水害対応についての研究

【重い病気や障がいを抱える子どもの学び支援】 (院内学級プロジェクト)

都内の病弱拠点 4 校における OriHime 活用履歴と、行政による施策を考慮し、

より多くの子どもたちに活用される貸出しモデルの見直しを行う。

- ・ 現状モデルの見直し／次期テーマの検討
- ・ 【社会発信】都内拠点校モデルの地方拡大を推進

【よりよい社会づくりにつながる学び支援】

広くすべての子どもたちを対象に「“ソーシャルリーダーシップ”を育む学び」の機会を提供。2019年度の予定は以下3件。*すべて継続テーマ
並行して、2020年度以降に取り組むべきテーマについての検討も行う。

① パラリンピック教材 I'mPOSSIBLE の共同開発と普及

対象：中学生、高校生

連携：日本財団パラリンピックサポートセンター/日本パラリンピック委員会

② 「親子でチャレンジ国際理解！ちびっこおえかきコンテスト」の共同実施

対象：就学前（幼稚園・保育園）

連携：認定NPO法人グッドネーバーズジャパン

③ 高校生英語ディベート大会・国際事業の共同実施

対象：高校生

連携：全国高校生英語ディベート連盟（HEnDA）・国際委員会

予算

2019年度 公益財団法人ベネッセこども基金					
収支予算計算書(正味財産増減計算書ベース)					
2019年4月1日から2020年3月31日まで					
					(単位:千円)
科 目	公益事業会計 子どもの学び 支援事業	法人会計	合計	2018年度 補正予算	差異
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取寄付金	156,971	20,000	176,971	145,867	31,104
受取寄付金	156,971	20,000	176,971	145,867	31,104
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0
雑収益	2	0	2	2	0
受取利息	2	0	2	2	0
雑収益	0	0	0	0	0
経常収益計	156,973	20,000	176,973	145,869	31,104
(2) 経常費用					
事業費	156,973	0	156,973	125,869	31,104
原稿料	1,504		1,504	240	1,264
監修費	420		420	470	▲ 50
法定福利費	3,927		3,927	3,350	577
給料手当	24,548		24,548	21,150	3,398
旅費交通費	4,459		4,459	2,550	1,909
通信運搬費	925		925	830	95
消耗品費	70		70	110	▲ 40
修繕費	200		200	0	200
印刷製本費	11,270		11,270	6,890	4,380
賃借料	8,940		8,940	8,940	0
保険料	30		30	20	10
諸謝金	840		840	350	490
支払負担金	10,100		10,100	7,790	2,310
支払助成金	60,000		60,000	44,910	15,090
委託費	13,756		13,756	10,830	2,926
ソフトウェア償却費	1,179		1,179	1,179	0
その他事業費	0		0	40	▲ 40
普及宣伝費	2,150		2,150	1,510	640
渉外費	322		322	220	102
制作費	10,052		10,052	12,140	▲ 2,088
報酬	1,605		1,605	1,530	75
会議費	676		676	820	▲ 144
管理費	0	23,191	23,191	19,991	3,200
報酬		700	700	600	100
給料手当		6,137	6,137	5,290	847
会議費		80	80	90	▲ 10
旅費交通費		120	120	60	60
通信運搬費		500	500	500	0
消耗品費		180	180	260	▲ 80
新聞図書費		60	60	0	60
印刷製本費		500	500	480	20
光熱水料費		180	180	160	20
賃借料		1,896	1,896	1,620	276
保険料		5	5	10	▲ 5
租税公課		1	1	0	1
支払負担金		100	100	130	▲ 30
雑費		240	240	280	▲ 40
法定福利費		981	981	840	141
普及宣伝費		1,000	1,000	810	190
渉外費		24	24	0	24
支払手数料		336	336	330	6
委託費		6,300	6,300	6,290	10
制作費		3,050	3,050	1,440	1,610
ソフトウェア償却費		801	801	801	0
経常費用計	156,973	23,191	180,164	145,860	34,304
当期経常増減額	0	▲ 3,191	▲ 3,191	9	▲ 3,200
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	▲ 3,191	▲ 3,191	9	▲ 3,200
当期一般正味財産増減額	0	▲ 3,191	▲ 3,191	9	▲ 3,200
一般正味財産期首残高	6,661	46,591	53,252	53,252	0
一般正味財産期末残高	6,661	43,400	50,061	53,261	▲ 3,200
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金	136,192	20,000	156,192	157,519	▲ 1,327
受取寄付金	136,192	20,000	156,192	157,519	▲ 1,327
一般正味財産への振替額	▲ 156,971	▲ 20,000	▲ 176,971	▲ 145,867	▲ 31,104
一般正味財産への振替額	▲ 156,971	▲ 20,000	▲ 176,971	▲ 145,867	▲ 31,104
当期指定正味財産増減額	▲ 20,779	0	▲ 20,779	11,652	▲ 32,431
指定正味財産期首残高	306,491	0	306,491	306,491	0
指定正味財産期末残高	285,712	0	285,712	318,143	▲ 32,431
III 正味財産期末残高	292,373	43,400	335,773	371,404	▲ 35,631

資金調達及び設備投資の見込みについて

(事業年度 2019年4月1日から2020年3月31日)

1) 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の予定はなし。

2) 設備投資の見込みについて

当期中に重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はなし。